

企業の国際化と外国人留学生・研修生

労働市場の環境変化に伴い、外国人労働者をめぐるさまざまな問題が顕在化しているが、とりわけ企業活動の国際化の進展は、外国人の人材に対するニーズの高まりを招き、留学生・研修生の受入れについても関心が高まっている。

本調査研究は、企業、留学生、研修生の三者について我が国の教育研修の実態と就労ニーズ等の調査を行うとともに、大学、企業等の関係者を対象にセミナーを行い、その活用の在り方を探った。

<主査>

・孫福弘 慶応義塾大学
国際センター事務長

<副査>

・保崎優 文化外国語専門学校
副学校長

<研究委員>

・岡沢哲紀 多田建設(株)
労務安全部次長
・岡部篤厚 日本経済短期大学
広報課長
・鬼木和子 産業能率短期大学助教授
・筒井光昭 日本ビルサービス(株)
取締役社長室長
・徳田英明 雇用職業総合研究所
研究員
・宮下和雄 東京商工会議所
産業経済部課長

目次

第I部	留学・研修の現状と今後の課題
	研究の目的と手法
	序論
第1章	外国人留学生の進路問題
第2章	研修生が求めるもの
第3章	留学生の採用と研修生の受入の動向
第4章	企業の国際的戦略と留学生・研修生の受入
第5章	まとめ
第II部	留学生の就職指導と研修生の活用
第1章	留学生の進路問題と就職指導
第2章	研修生の活用とその実際
第III部	企業の国際化と外国人研修生・留学生の活用に関するセミナー